

M's system

「ドコデモ」シリーズ取扱説明書

FC1332 フロント・センター・スピーカー



■FC1332 製品仕様

[フロントスピーカー]

インピーダンス:6Ω / 許容入力:25W

最低共振周波数:70Hz

再生周波数帯域:fo~20kHz

[センタースピーカー]

インピーダンス:8Ω / 許容入力:8W

最低共振周波数:160Hz

再生周波数帯域:fo~20kHz

サイズ:210φmm × 400mm

重さ:4,000g

■付属品

木製台座・スピーカーケーブル(2m × 3本)

取扱説明書・保証書

RS0802 リアスピーカー



■RS0802 製品仕様

インピーダンス:8Ω / 許容入力:15W

最低共振周波数:110Hz

再生周波数帯域:fo~20kHz

サイズ:160φmm × 400mm

重さ:3,000g

■付属品

木製台座・スピーカーケーブル(7.5m × 2本)

取扱説明書・保証書

SW1662-A スーパーウーファー



■SW1662-A シリーズ製品仕様

インピーダンス:8Ω / 許容入力:28W

最低共振周波数:50Hz

再生周波数帯域:fo~7500Hz

実用最大出力:18W

サイズ:210φmm × 344mm

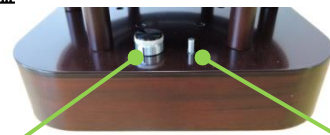
重さ:4,000g

■付属品

オーディオケーブル(3m × 1本)・除電マット

ACアダプタ(12V 3.8A)・取扱説明書・保証書

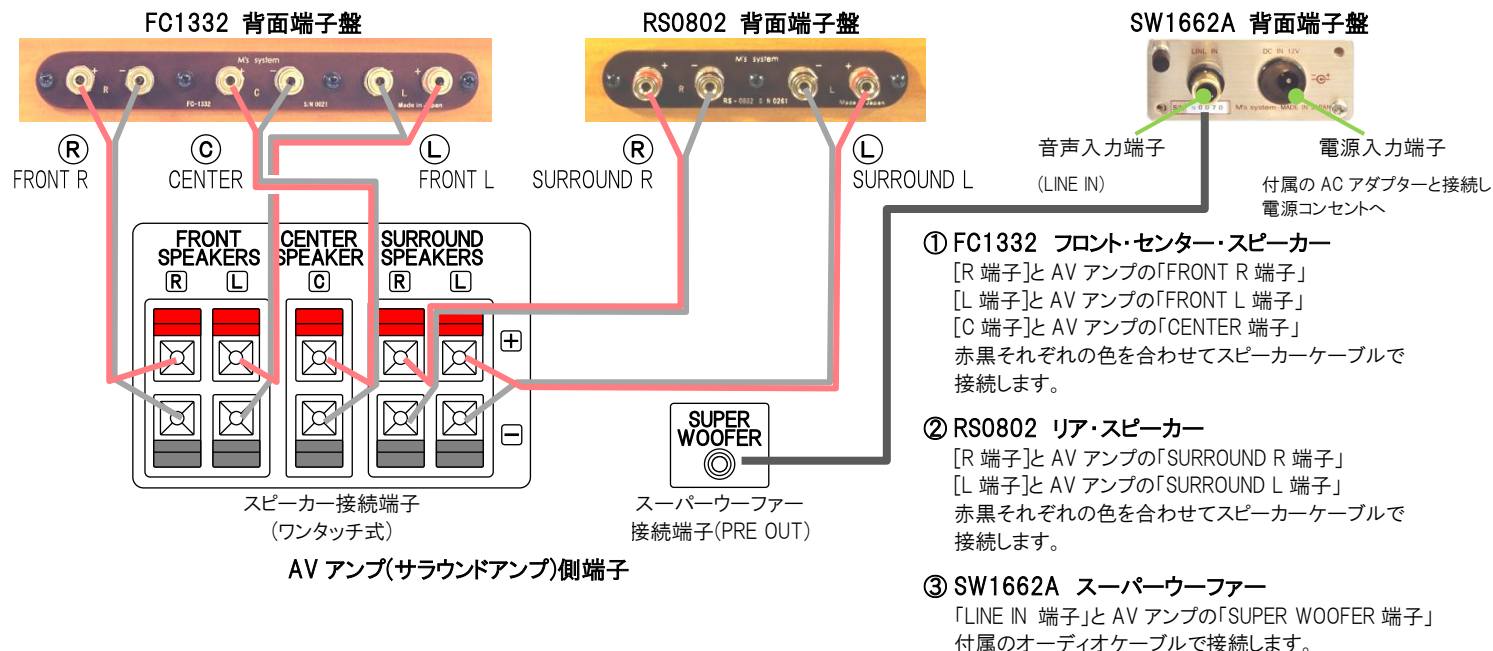
■操作盤



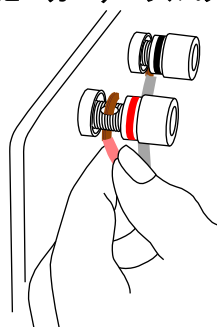
ボリュームつまみ

電源スイッチ

◆AV アンプ(サラウンドアンプ)との接続方法

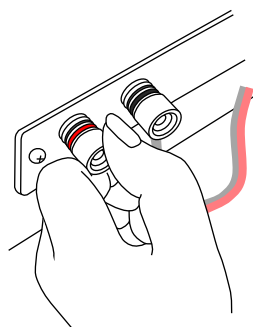


◆スピーカーケーブルの取り付け方



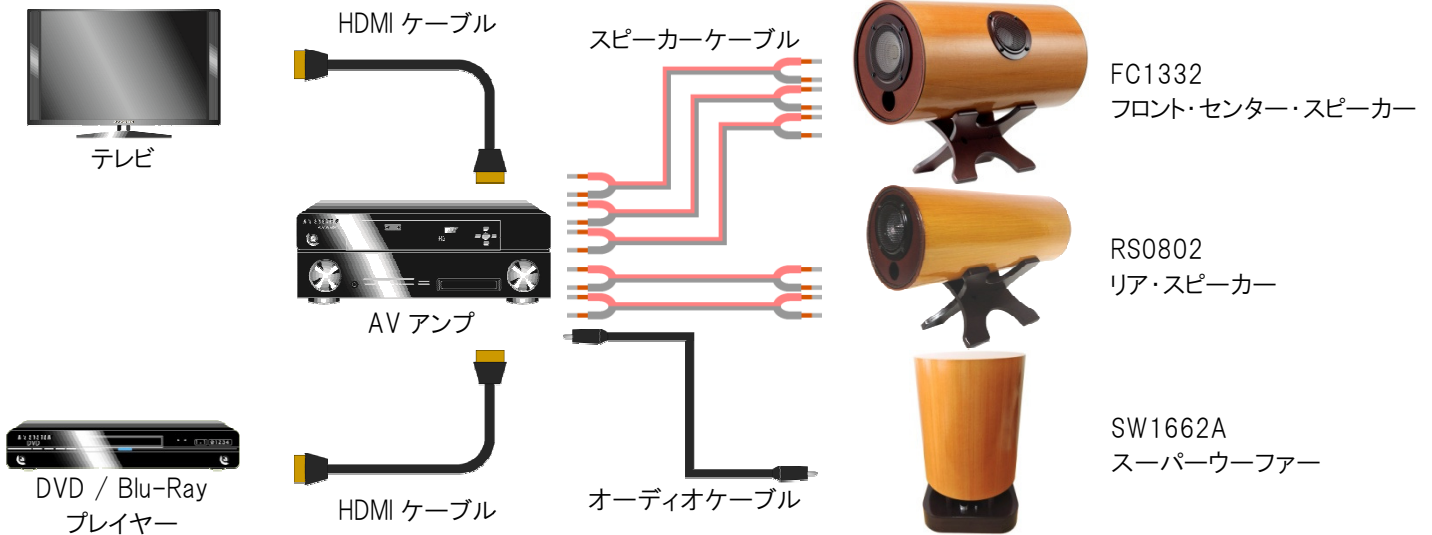
- ① 端子のネジを左に回してゆるめ、スピーカーケーブルの先端の銅線部分を端子の穴に差し込みます。ケーブル(赤色)を赤色の端子、ケーブル(無色)を黒色の端子につなぎます。

※ 市販のバナナプラグをスピーカーケーブルに取り付けて端子に差し込むことも可能です。



- ② 端子のネジを右に回してしっかり締め付けます。
- ③ しっかりと接続されているか軽く引っ張って、先端が抜けないことを確かめてください。

◆テレビ / 各種プレイヤーとの接続例



テレビのHDMI入力端子(ARC対応)とAVアンプのモニター出力端子をHDMIケーブルで接続します。

DVD/Blu-RayプレイヤーのHDMI出力端子とAVアンプのHDMI入力端子をHDMIケーブルで接続します。

FC1332(フロント・センター・スピーカー)とRS0802(リア・スピーカー)のスピーカー端子とAVアンプのスピーカー端子をスピーカーケーブルで接続します。

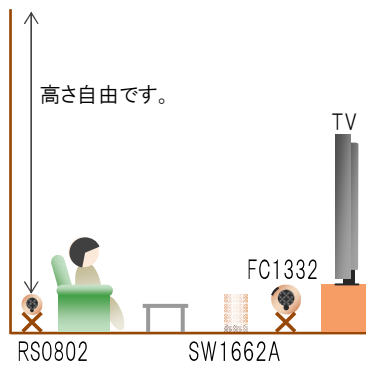
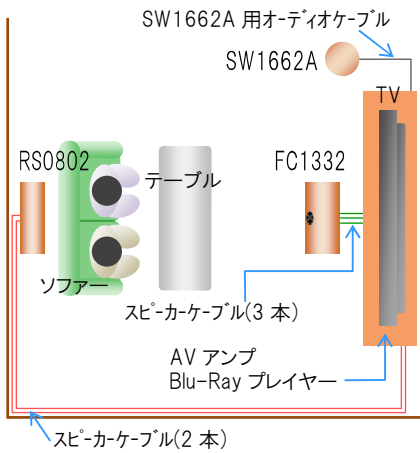
SW1662A(スーパー・ウーファー)の音声入力(LINE IN)端子とAVアンプの音声出力(PRE OUT)端子を付属のオーディオケーブルで接続します。

※ 接続方法の一例となります。詳しい接続方法については、ご使用のAVアンプの取扱説明書などをご参照くださいませ。

◆ホームシアターセットの設置について

実際にご視聴いただく場所の前方にFC1332、後方にRS0802を設置するだけでレイアウトは簡単です。

【設置例: テレビ】

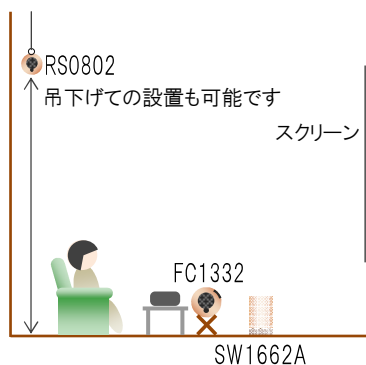
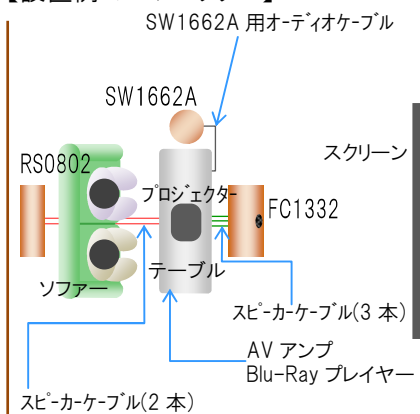


[FC1332 (フロント・センター・スピーカー)]
ご視聴いただく場所と画面の間であればどこでも設置ができます。

[RS0802 (リア・スピーカー)]
ご視聴いただく場所の背後に設置をしてください。高さも自由です。
RS0802の代わりに、MS1001シリーズをご使用いただくことも可能です。

[SW1662A (スーパー・ウーファー)]
空いているスペースに自由に設置をしていただけます。

【設置例: プロジェクター】



※ スクリーンからFC1332を離して設置する場合は、上図のようにセンタースピーカーをスクリーン側へ向けて設置することも可能です。


◆ご使用上の注意

- ・スピーカーの設置・接続をする時は、テレビやAVアンプなどの機器の電源はかならず切った状態で行ってください。
- ・ご使用いただくAVアンプの取扱説明書をよくお読みいただきご確認ください。
- ・スピーカーに指定された最大許容入力を越えないようご注意ください。
- ・適度の湿度、直射日光、強い衝撃などを避け、快適な環境に設置していただくようお願いします。
- ・ほこりがついた時は、強くこすらず乾いた柔らかい布でさっと落としてください。
- ・ダクト(穴)などのほこりは、絵筆のようなもので軽く払い落としていただくことをおすすめします。
- ・SW1662A(スーパーウーファー)は、お好みに合わせてボリュームを調整してご使用ください。
- ・十分な音の広がりをお楽しみいただけるように、スピーカーの両側は出来る限りの空間を確保して設置してください。

安全上の注意

正しく安全にお使いいただくため、ご使用前に必ずお読みください。


警告 この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人の死亡または重傷を負う危険が差し迫って生じることが想定される内容を示しています。

 **電源プラグをコンセントから抜く**


万一異常が発生したら、電源プラグをすぐに抜く

- 煙や異臭、異音が出たとき
- 落としたり、破損したとき
- 機器内部に水や金属類、燃えやすいものが入ったとき


そのまま使用すると、火災、感電の原因となります。すぐに本体と接続している機器の電源を切り、必ず電源プラグをコンセントから抜いて、安全を確認してからサポートセンターにご連絡ください。お客様による修理などは危険ですので絶対におやめください。

 **ご使用は正しい電圧で**


表示された電源電圧以外で使用しないでください。火災、感電の原因となります。

 **電源ケーブルは大切に**

電源ケーブルを傷つけたり、破損したり、加工したりしないでください。また、重いものをのせたり、加熱したり、引っ張ったりすると電源ケーブルが破損し、火災・感電の原因となります。電源ケーブルが痛んだらすぐサポートセンターに交換をご依頼ください。


 **浴室・シャワー室では使用しない**

火災・感電の原因となります。


 **雷が鳴りだしたら**

機器や電源プラグには触れないでください。


注意 この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が損害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

 **電源ケーブルは確実に接続し、束ねたまま使用しない**


電源ケーブルを接続するときは接続口に確実に差し込んでください。差し込みが不完全な場合、火災・感電の原因となることがあります。根元まで差し込んでゆるみがあるコンセントには接続しないでください。

 **また、電源ケーブルは束ねたまま使用しないでください。**


発熱し火災の原因となることがあります。

 **電源ケーブルを熱器具に近づけない**


ケーブルの被ふくが溶け、火災・感電の原因となることがあります。

 **電源プラグを抜くときは**


電源ケーブルを引っ張らず必ずプラグを持って抜いてください。ケーブルが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。

 **濡れた手で電源プラグを抜き差ししない**


感電の原因となることがあります。

 **機器の接続は説明書をよく読んでから**


テレビ・オーディオ機器・ビデオ機器などの機器を接続する場合は、電源を切り各々の機器の取扱説明書に従って接続してください。また、接続には指定のケーブルを使用してください。指定以外のケーブルを使用したりすると発熱し、やけどの原因となることがあります。

 **電源プラグの先端および先端付近に埃や金属物が付着しているときは**


電源プラグをコンセントから抜き、乾いた布で取り除いてください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

 **内部に水などの液体や遺物をいれない**


機器内部に水などの液体や金属類、燃えやすいものを差し込んだりしないでください。火災・感電の原因となります。特にお客様のいるご家庭ではご注意ください。

 **水をかけたり濡らしたりしないでください**

雨天・降雪中・海岸・水辺での使用は特にご注意ください。火災・感電の原因となります。


 **ねじを外したり、分解や改造したりしない**

火災・感電の原因となります。内部の点検・調査・修理はサポートセンターにご依頼ください。


 **機器の近くに花瓶・植木鉢・コップ・化粧品・薬品や水などが入った容器、および小さな金属物を置かない。**

こぼれたり中に入った場合、火災・感電の原因となります。


 **禁止**

 **電源を入れる前には音量を最小にする**

突然大きな音が出て、聴力障害などの原因となることがあります。


 **特定信号を連続して再生しない**

テープレコーダーの早送り信号や正弦波などの特定した信号を連続して再生しないでください。故障の原因となることがあります。


 **電池を交換するときは**

- 極性表示に注意し、表示通りに正しく入れる
- 指定以外の電池は使用しない
- 新しい電池と古い電池を混ぜて使用しない

間違えると電池の破損、液漏れにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。

 **不安定な場所に置かない**

ぐらついた台の上や傾いた場所など不安定な場所に置かないでください。落ちたり倒れたりして、の原因となることがあります。

 **次のような場所には置かない。**

火災・感電の原因となることがあります。

- 調理台や加湿器のそばなど油煙や湿気が当たるような場所
- 湿気や埃の多い場所
- 直射日光の当たる場所や暖房器具の近くなど高温になる場所



禁止

この機器に乗ったりぶら下がったりしない

特にお子様がいる家庭では、ご注意ください。倒れたり、壊れたりして、けがの原因になることがあります。



禁止

重いものをのせない

機器の上に重いものや外枠からはみ出るような大きなものを置かないでください。バランスがくずれて倒れたり、落下したりして、けがの原因になることがあります。



禁止

ベンジン・シンナーなどの揮発性薬品で拭かない

火災・変色の原因となる事があります。機器についた汚れや埃は乾いた布で拭き取ってください。



必ず実施



禁止

自動車の中に放置しない

内部に熱がこもり、火災・感電の原因となることがあります。



電源プラグをコンセントから抜く

移動させるときは

まずは電源を切り、必ず電源プラグをコンセントから抜き、外部の接続ケーブルを外してからおこなってください。ケーブルが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。



電源プラグをコンセントから抜く

長時間の外出・旅行の時、またはお手入れのときは

安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。火災・感電の原因となることがあります。



エムズシステム・サポートセンター

取扱い方法、製品についての修理・サービスのご相談をお受けいたしております。

営業時間：AM 10:00 ~ PM 6:00（定休日：水曜）

- E-mail : support@mssystem.co.jp
- TEL : 03-5542-7432
- FAX(フリーダイヤル) : 0120-357-767
- ホームページ : <http://mssystem.co.jp>
- 「故障かな?」と思ったら : http://mssystem.co.jp/about_repair.html
(ホームページ一番下の「修理・メンテナンス」からどうぞ)